

16.メディアアートワークショップー廃材からライトオブジェを作ろう！

チーム・シンボリ 代表 新堀孝明

1. 子どもたちへのメッセージ

廃材を使ってメディアアート作品をつくってみましょう！メディアアートとは科学・先端技術と芸術を融合させてうまれる芸術表現です。現在開催されている大阪関西万博では多くのメディアアート作品がパビリオンで展示されています。また、とても人気を集めています。一見ゴミに見える廃材や安価な素材を使い、アート作品を作ることで新しい価値を見出しましょう。八百万の「いのち輝く新しい未来社会のデザイン」を体現しましょう。就学前の子どもたちも楽しく体験できます。作品は持ち帰っていただけます。

本ワークショップは、メディアアートのお金がかかるイメージを払拭する運営側の実験を兼ねており、SDG'sを意識した企画内容です。

2. よういするもの

素材・プラスチック系食品トレイやペットボトル（透明半透明や白色の素材が好ましい）
道具・自分が愛用しているハサミや筆記用具他、簡単な工作に必要なもの
今回はライトオブジェを作ります。LEDは当方で用意します。可能であればボタン電池を複数持参してください。

3. やりかた

- ・上記の素材を切ったり貼ったり積み上げたりしてオブジェ（造形物）を作ります。
- ・LEDを電池で光らせませす（ボタン電池を使用）。
- ・作ったオブジェの中や周辺に複数の上記で作ったLEDライトを組み込みます。
- ・光る造形物の塩梅を見ながら、ライトオブジェを完成させます。
- ・部屋を少し暗くしてライトオブジェを鑑賞してみましょう（参加者複数が好ましい）。

4. わかること

- ・光源であるLEDライトの特性（直行する光）
- ・透明や半透明素材に対する光の透過と不透過の現象
- ・間接照明の面白さと難しさ
- ・安価な素材や道具・機材でメディアアートが作れること
- ・一見価値のないように思える廃材にアートで（自分で）価値を与える醍醐味

5. 気をつけよう

素材の切り貼りにはハサミなどを使います。怪我のないように注意してください。

6. 問い合わせ先

メディアアーティスト:新堀孝明（Facebookで新堀孝明を検索しアクセスして下さい）
難しい方はこちらまで bori.de.versailles@gmail.com

7. 参考になる資料

- ・開催されている EXPO2025 大阪関西万博
- ・メディア・アート創世記—科学と芸術の出会い 坂根巖夫（参考文献）
- ・日本のメディアアート史 馬定延（参考文献）